



第75回

私のスケッチブック

## 「中世の息遣いの残る町」

ライ/イーストサセックス州 (イギリス)



次回、ロンドンを訪ねる機会があれば必ず訪れようと決めていましたから、用意周到に旅立つ前からブリットレイル・パスの2日間用をGet。ところが時刻表がないのです。現地でホテルのコンシェルジュに相談。往復の時刻表を、懇切丁寧にプリントアウトしてくれますから感謝です。

始発駅は、チャリング・クロス駅ではなく、セント・パンクラス駅なんだあ。ついでに隣接駅のキングス・クロス駅で、「ハリーポッター」の hogwarts 行きの列車の出る9と3/4番線を探しに行きます。

45分でアッシュフォード・インターナショナル駅に到着し、僅か10分の乗り継ぎでライまで20分少々？

ライの町は、イングランド南東に位置する港町。13世紀には既に自治をしていたと云われますから、フランスやスペインの侵略を防ぐ城塞都市だったのでしょうか。

ベルギーのブルージュと同じように砂州で海岸線が後退し、港町の機能を失い、時間が止まった中世の趣を残しています。廃墟のような城門、小石を敷き詰めた小道、チューダー様式の街角が待ち構えています。

この絵は、町の中心に位置するセント・メアリー教会前を描いたもの。ツーリスト・インフォの近所に位置していますから、遠来の客は立ち寄ります。アンティークのお店が沢山軒を連れ、メイン・ストリートの店先の可愛らしさに圧倒されます。ロンドンの様な派手さはないのですが、個性豊かなディスプレイは感動モノ。

小さなレストランで昼食を済ませて「お支払い」です。50ポンド紙幣を差し出すと…怪訝な顔つきで、これは旧札で使えない？近所の銀行で新札と交換して貰うと良いよ！昔もロンドンでお札の変更のため使えなくなり、何度か両替に行ったことを思い出しました。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
2016年開催「第67回 全国カレンダー展」に8度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索